

令和4年度 学校教育の努力点とその推進計画

名古屋市立東山小学校

1 研究主題

いきいきと主体的に学習する子ども
～使おう！生かそう！タブレット！～

2 基本構想

令和3年度の学校努力点では、「いきいきと主体的に学習する子ども～触れよう！使おう！ICT！～」という主題で、各学級で実践を重ねた。タブレット端末が指導者用だけでなく、児童用も配付されたことに伴い、とりわけタブレット端末を使った実践が多く行われた。その結果、タブレット端末の使用方法については慣れてきたものの、それを使うことが目的となってしまう、効果的に活用するといったところまで迫ることができなかった。

令和4年度の名古屋市学校教育の努力目標の重点事項として、「ICTを最大限活用した『個別最適な学び』と『協働的な学び』の一体的な充実」が挙げられ、タブレットの効果的な活用は今日的な教育課題であるともいえる。

そこで今年度は、令和3年度の課題をもとに、以下のことを今年度の重点目標と捉え、実践を重ねていきたい。

【今年度の重点目標】

- 子どもが主体的に学習する姿を引き出すためには、授業のどのような場面で、どのようにタブレットを使うとよいかを明らかにする。

また、次年度以降も、継続して「いきいきと主体的に学習する子ども」を主題とし、名古屋市学校教育の努力目標にある「個別最適な学び」と「協働的な学び」の充実を目指していくことで、主題に迫っていきたい。

○ 昨年度から次年度までの計画

R3 触れよう！使おう！ICT！

R4 使おう！生かそう！タブレット！（今年度）

R5 生かそう！広げよう！タブレット！（仮）

いきいきと主体的に学習する子ども

3 研究の方法

研究を進めるにあたって、以下のような方法で、年間を見通した活動を計画し、実践に取り組むこととする。

- ① 各学年で子どもの実態を把握する。(実態把握の方法は、各学年で検討)
- ② 実践教科・領域は特定しない。(学年でも統一しなくてよい)
- ③ 学級担任、専科の教員は、年間で1回公開授業を行う。
※ 授業計画・振り返りシートを作成・配付【参観：主に同学年の先生】
- ④ 授業後に参観者で振り返りを行う。
- ⑤ 中間報告(9月・情報交換)では、「授業計画・振り返りシート」をまとめたものを冊子にして配付し、それまでの実践の成果と課題等について学年を越えて情報交換し、その後の実践に生かす。
- ⑥ 最終報告(2月・口頭)では、中間報告以降の実践での「授業計画・振り返りシート」をまとめたものを冊子にして配付し、実践の成果と課題を振り返って感想や意見、次年度への課題等を発表する。

<年間計画>

4月	○研究主題の設定と研究組織づくり	全体会
5月	○推進計画の検討 ○実態把握	学年部会 学年部会
6月	○実践計画立案	学年部会
7月	○授業実践(～1月末)	各学級
授業実践にあたって ① 授業計画・振り返りシートを作成・配付(授業の前日までに) ② 授業実践 ③ 参観者とともに振り返りを行う。 ④ 振り返りの内容を授業計画・振り返りシートに記入する。 ⑤ 記入が終わったら、係に提出する。		
9月	○中間報告(紙上発表)	情報交換
2月	○実態把握 ○最終報告会	学年部会 全体会
3月	○次年度への課題と方向性の検討	推進委員会

4 研究組織

